

令和4年度

# 水 質 検 査 計 画



## 水 質 検 査 計 画 について

建設整備課では、水道水の安全性を保証するために水質検査を行っておりますが、水質検査の適正な実施及び需要者への適切な情報提供のため水質検査計画を定めました。これは、今後の水質検査の内容を計画として定め、またその結果を適切に評価公表しようとするものであり、水道事業の透明性の確保を目的とします。

今後とも、建設整備課においては水道水がより安全でより良質であるよう、鋭意努力して参りたいと思っております。

鶴 田 町 建 設 整 備 課

# 1. 基本方針

## (1) 検査地点

鶴田町大字廻堰字大沢 8 1 - 1 5 0 富士見湖パーク

(ただし、毎日検査する項目については浄水場及び妙堂崎・瀬良沢で行います。)

## (2) 検査項目

水道法施行規則の水質基準項目とします。(4, 5 ページ参照)

## (3) 検査頻度

- ① 毎日行う検査と毎月一回(毎月第2又は第3火曜日)行う検査の2種類があります。
- ② 毎月一回行う検査では、5月に51項目、8月・11月・2月に23項目、その他の月に9項目を検査します。また、8月・9月・10月はカビ臭原因物質である藻類が発生する可能性のある時期なので、ジェオスミンと2-メチルイソボネオールの2項目を追加します。

## (4) 計画期間

令和4年4月1日～令和5年3月31日とします。

# 2. 臨時の水質検査

次ぎのような状況になり、水質基準に適合しないおそれがある場合、臨時の水質検査を行います。

- ① 水源水質の著しい悪化や、水源に異常があった場合。
- ② 配水管などの水道施設が著しく汚染されたおそれがある場合。
- ③ その他特に必要があると認められた場合。

# 3. 水質検査方法

月一回の検査は、社団法人青森県薬剤師会衛生検査センターに委託しており、検査する項目については毎日検査を除いた項目で、検査頻度については1. 基本方針の(3)のとおりです。試料の採取については建設整備課の職員が行い、当日中に受託者が車両により検査施設に運搬します。臨時検査については、その都度対応することを確認しており、検査の実施状況については、年1回委託先の検査施設を訪問して確認します。また毎日検査項目については、建設整備課の職員及び委託者が実施します。

# 4. 検査結果の公表

水質検査計画は毎年作成し、インターネット上のホームページで公表します。ホームページではより詳しい検査内容も閲覧できるほか、検査結果

が確定すれば、4月～9月分と10月～3月分の年2回公表していきます。

これらの事項について町民の方からご意見があれば定期的に検討を行い、より安全で安心できる水道を目指します。

(ホームページURL <http://www.net.pref.aomori.jp/tsuruta/>)

## 5. 水質検査結果の評価と水質検査計画の見直し

検査結果の評価は検査ごとに行い、各検査項目の検出濃度の最大値や平均値を水質基準値と比較し、翌年度の水質検査計画における検査項目や検査頻度に反映させます。

また、町民の方からのご意見を今後の水質検査計画の見直しに反映させます。

## 6. 水質検査の精度と信頼性の保障

水質検査の測定値の信頼性を確保するため、委託検査項目について、正確かつ精度の高い検査に留意しています。原則として水質基準値の1/10の定量下限値を確保しています。

## 7. 関係機関との連携

水源から給水栓まで、水質汚染事故等がおきた場合は、厚生労働省や青森県などの関係機関と情報交換するとともに連携して迅速に対策を講じます。

## 8. 水源の状況並びに浄水の水質状況

### (1) 水源の状況

鶴田町では、浅瀬石川ダムから取水し、津軽広域水道企業団総合浄水場で浄化処理した水を受水しております。浅瀬石川ダムの貯留水は、完成以来良い状態に保たれていましたが、平成24年9月下旬から原水の2-メチルイソボルネオール濃度が急激に上昇し、既存設備での粉末活性炭処理では除去できず、水質基準を超過する異臭味問題が生じました。

浅瀬石川ダム流域には自然的、人為的負荷源が存在していることから、ダム湖流入河川、ダム湖内や原水の水質については監視を強化し、関係機関と連携し即座に対応できる体制を整えて参ります。

### (2) 浄水の水質状況

鶴田町が行う検査の他に津軽広域水道企業団でも浄水の水質検査をしています。

① 検査地点

企業団総合浄水場原水、浄水場出口、鶴田町受水池前の合計3地点です。

② 検査方法

企業団で大部分の検査は独自に行いますが、一部は20条検査機関に委託しています。

③ 検査頻度

毎月原水及び浄水は月2回、鶴田町受水池前は月1回、その他水質の状況に応じて、臨時的に実施しております。検査項目は水質基準項目51、水質管理目標設定項目26のうち24項目、自主検査項目18を実施しています。

水質基準項目(法定検査)

番号	定期検査項目	省略の可否	基準値 (mg/L)	H31年度検査項目	H30年度最大値	過去3年間の最大値	検査の基本の回数	検査実施回数	設定理由
基1	一般細菌	不可	100個以下	○	1	1	1回/月	1回/月	省略不可項目
基2	大腸菌	不可	不検出	○	不検出	不検出			
基3	カドミウム及びその化合物		0.003以下	○	<0.0003	<0.0003	1回/12月	1回/12月	安全確認のため
基4	水銀及びその化合物		0.0005以下	○	<0.00005	<0.00005			
基5	セレン及びその化合物		0.010以下	○	<0.001	<0.001			
基6	ヒ酸及びその化合物		0.01以下	○	<0.001	<0.001			
基7	鉛及びその化合物		0.01以下	○	<0.001	<0.001			
基8	六価クロム化合物		0.05以下	○	<0.005	<0.005			
基9	亜硝酸態窒素	不可	0.04以下	○	<0.004	<0.004			
基10	シアン化合物イオン及び塩化シアン	不可	0.01以下	○	<0.001	<0.001			
基11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素	不可	10以下	○	0.26	0.28	1回/3月	1回/3月	省略不可項目
基12	フッ素及びその化合物		0.8以下	○	<0.08	<0.08			
基13	ホウ素及びその化合物		1.0以下	○	<0.05	<0.05	1回/12月	1回/12月	安全確認のため
基14	四塩化炭素		0.002以下	○	<0.0002	<0.0002			
基15	1,4-ジオキサン		0.005以下	○	<0.005	<0.005			
基16	シス-1,2-クロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン		0.04以下	○	<0.004	<0.004			
基17	ジクロロメタン		0.01以下	○	<0.002	<0.002			
基18	テトラクロロエチレン		0.03以下	○	<0.001	<0.001			
基19	トリクロロエチレン		0.01以下	○	<0.001	<0.001			
基20	ベンゼン		0.01以下	○	<0.001	<0.001			
基21	塩素酸	不可	0.6以下	○	<0.06	0.08	1回/3月	1回/3月	省略不可項目
基22	クロロ酢酸	不可	0.01以下	○	<0.002	<0.002			
基23	クロロホルム	不可	0.06以下	○	0.005	0.015			
基24	ジクロロ酢酸	不可	0.04以下	○	0.004	0.004			
基25	ジブロモクロロメタン	不可	0.1以下	○	0.003	0.004			
基26	臭素酸	不可	0.01以下	○	<0.001	<0.001			
基27	総トリハロメタン	不可	0.1以下	○	0.022	0.029			
基28	トリクロロ酢酸	不可	0.2以下	○	0.009	0.01			
基29	ブロモジクロロメタン	不可	0.03以下	○	0.007	0.01			
基30	ブロモホルム	不可	0.09以下	○	<0.001	<0.001			
基31	ホルムアルデヒド	不可	0.08以下	○	<0.008	<0.008			
基32	亜鉛及びその化合物		1.0以下	○	0.037	0.037	1回/12月	1回/12月	水道水の性状確認のため
基33	アルミニウム及びその化合物		0.2以下	○	<0.01	0.01			
基34	鉄及びその化合物		0.3以下	○	<0.03	<0.03			

基35	銅及びその化合物		2.0 以下	○	0.02	0.02			
基36	ナトリウム及びその化合物		200 以下	○	8.9	9.3			
基37	マンガン及びその化合物		0.05 以下	○	<0.005	<0.005			
基38	塩化物イオン	不可	200 以下	○	13.6	16.5	1回/月	1回/月	水道水の性状確認のため
基39	カルシウム、マグネシウム等(硬度)		300 以下	○	16.0	16.0	1回/3月	1回/12月	水道水の性状確認のため
基40	蒸発残留物		500 以下	○	58	58			
基41	陰イオン界面活性剤		0.2 以下	○	<0.02	<0.02			
基42	ジェオスミン		0.00001 以下	○	0.000001	0.000001	原因藻類発生時に月1回以上	※	藻類発生のおそれがあるため
基43	2-メチルイソボルネオール		0.00001 以下	○	<0.000001	<0.000001			
基44	非イオン界面活性剤		0.02 以下	○	<0.002	<0.002	1回/3月	1回/12月	水道水の性状確認のため
基45	フェノール類		0.005 以下	○	<0.0005	<0.0005			
基46	有機物(全有機炭素(TOC)の量)	不可	5	○	0.7	0.7	1回/月	1回/月	省略不可項目
基47	pH値	不可	5.8~8.6	○	7.2	7.5			
基48	味	不可	異常でない	○	異常でない	異常でない			
基49	臭気	不可	異常でない	○	異常でない	異常でない			
基50	色度	不可	5 以下	○	<0.5	0.6			
基51	濁度	不可	2 以下	○	<0.05	0.07			
毎1	色度	不可	異常でない	○	異常でない	異常でない	1回/日		省略不可項目
毎2	濁度	不可	異常でない	○	異常でない	異常でない			
毎3	消毒の残留効果	不可	異常でない	○	異常でない	異常でない			

※は原因藻類発生時期に月に1回以上

(臭気物質の検査は8月~10月に実施)

は省略不可項目

毎1. 2. 3は目視等により検査を行います。